

【二重橋】(東京都千代田区)

皇居前広場から皇居正門を経て長和殿までの濠に架かる2つの橋「正門石橋」「正門鉄橋」を総称して呼ぶ。厳密には奥に架かる「正門鉄橋」を指すといわれ、橋桁を支えるために二重構造となっていたことから二重橋と呼ばれようになった。通常は使用されないが、新年や天皇誕生日の一般参賀の際には正門が開放され、一般人でも渡ることができる。

TOKYOシャイン

<https://www.tokyoshigoto.jp>



vol.
20

発行 公益財団法人東京しごと財団／東京しごとセンター・ヤングコーナー
企画制作 パーソルテンプスタッフ株式会社
印刷 タナカ印刷株式会社
発行年月日 令和2年3月20日



輝ける仕事はここにある！

TOKYOシャイン



東京のキラリと光る
中小企業を10社紹介。
就職活動に役立つ情報が
きっと見つかるはず！

設立**20**年以上で
20代が活躍している企業特集

vol. **20**

東京にはたくさんの企業があります。

その多くが日本の産業を支える**中小企業**で、一社一社にそれぞれの魅力があります。
しかし、**求職者**がそれらの企業について詳しく知ることはなかなか難しいのが現状です。

「TOKYO シャイン」は、**20代・30代**の若手求職者に
もっと**中小企業**の魅力を知ってもらうことを目的に創刊されました。
毎号、様々な切り口で、中小企業を紹介していこうと考えています。
今号では、「**設立20年以上で20代が活躍している企業**」を**10社**取り上げ、その魅力に迫りました。

あなたが知らない**素晴らしい会社**が、東京にはまだまだたくさんあります。
ぜひ、あなたにぴったりの一社を見つける**手がかり**にしてください。

キラリと光る**中小企業**が 東京にはたくさんあるんだ!

てるみ



てるぞう



てるこ



てるお



今号は
Vol.20を記念して
各ページに「**20**」が
たくさん隠れているよ。
探してみてね♪

04 10人の若手社員に質問! 中小企業で働く魅力って、何ですか?

06 カラーコーンなどの保安用品で工事現場の安全を守る
セブテック株式会社 (卸・商社)

08 数々の有名テレビ番組を手がける映像・音響のプロ集団
株式会社白川プロ (サービス)

10 大手食品メーカーから信頼されるパッケージ専門商社
株式会社岡村 (卸・商社)

12 アイデアを形にできるノベルティグッズの製造販売会社
株式会社モリシタ (製造)

14 道路標示施工を通じて道路の安全を守る会社
ラインファルト工業株式会社 (建設)

16 医療系・福祉系に強みを持つシステム開発会社
株式会社ニューテック (情報通信)

18 3つの分野に強みを持つ、教育体制が整った開発会社
株式会社アーバンリサーチ (情報通信)

20 プリント×ITでイノベーションを起こす印刷会社
株式会社イメージ・マジック (印刷)

22 働きやすさと親切な先輩たちが自慢の高齢者福祉施設
社会福祉法人聖救主福祉会 深川愛の園 (医療・福祉)

24 全国各地で楽しいイベントを企画・運営する会社
株式会社ティー・ビー・カンパニー (広告)

26 お父さん、教えて!
『特別企画: これまでの「TOKYO シャイン」を振り返ろう』

「東京しごとセンター」とは?

一人ひとりの適性や状況を踏まえたきめ細かな就業相談 (キャリアカウンセリング) から、就職活動や就職後に役立つ知識・スキルを習得するための各種セミナーや能力開発、求人情報の提供・職業紹介まで、就職に関する一貫したサービスを提供しています。対象は、若年者から高齢者まですべての年齢層の求職者です。なお、29歳以下を対象にした「ヤングコーナー」は施設3階にあります。「ハローワーク飯田橋 U-35」が併設されているので、パソコンでの求人情報検索や、就職相談・職業紹介などのサービスを施設内でご利用いただけます。

※一部、30～34歳以下の方もご利用いただけるサービスもございます。

【業務時間】

《平日》午前9時～午後8時

《土曜》午前9時～午後5時

※日曜・祝日および年末年始 (12/29～1/3) はお休みです

【所在地】

東京都千代田区飯田橋3丁目10番3号
TEL 03-5211-1571

【URL】

<https://www.tokyoshigoto.jp>





卸・商社

★セブテック株式会社
神田 悠貴さん
(営業)

サービス

★株式会社白川プロ
芦沢 希さん
(画像編集)

時代に沿った
変化の可能性
がある!!

卸・商社

★株式会社岡村
野邊 早央里さん
(営業)

柔軟な
対応力

印刷

★株式会社イメージ・マジック
笹川 結香さん
(サイト運営)

学びながら
働ける

建設

★ラインファルト工業株式会社
濱野 賢悟さん
(営業・施工管理)

親身

会社と共に
成長できる

製造

★株式会社モリシタ
都築 洋介さん
(営業)

医療・福祉

★社会福祉法人聖教主福祉会
深川愛の園
奈良 潤人さん
(介護スタッフ)

ありがとう
と言われる
仕事

情報通信

★株式会社ニユーテック
高木 彩夏さん
(IT エンジニア)

自由度が
高い

上との
距離が近い

情報通信

★株式会社アーバンリサーチ
伊藤 真由さん
(システムエンジニア)

働けばわかる
魅力がたくさん
あるんだね!



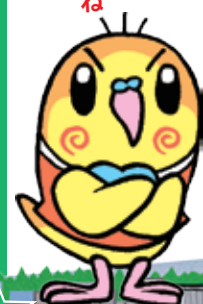
自分の
色を
いかに
せる!

広告

★株式会社ティール・ビー・カンパニー
石塚 良子さん
(営業アシスタント)

中小企業で 働く魅力って、 何ですか？

第一線で活躍中の10人の皆さんに、
「あなたが考える中小企業で働く魅力」を伺いました。
ご覧のとおり、答えはみんなバラバラ。
10人いれば10通りの答えがあるように、
中小企業の魅力は一言では語り尽くせません。
ここで登場してくれた先輩たちは、
このあとの企業紹介ページでも
インタビューに答えてくれています。
先輩たちが生き生きと働く様子を、
ぜひチェックしてみてください。



安心・安全を支えるね
工事現場の

セフテック株式会社

<https://www.saftec.co.jp>



工事現場で見かける 保安用品を扱う

2020年で設立63年を迎えるセフテック株式会社。同社は道路や建物などの工事現場で見かけるカラーコーン、安全フェンス、LED表示機といった工事用保安用品の販売、レンタルを行っている。中でも、カラーコーンは同社の登録商標だという。

「当社は赤色警戒灯、工事用保安灯の製造、賃貸、保守管理からスタートし

ました。街中で見かけるカラーコーンは、当社が商標登録しているんです」そう語るのは5代目となる代表取締役社長の岡崎太一氏。「長い歴史の中で良い関係を築き、弊社独自のノウハウに信頼をいただいた工事業者様からの受注も多く、お付き合いが長い取引先が多いんです」(岡崎氏)

保安用品は、実は少しずつ進化している。複数を電波で同期させ同時に点



↓ 本社ビル外観



↓ 社内の様子 (東京営業所)



↓ 受付カウンター (東京営業所)



減させる保安灯や、テロ対策のため不審物が仕掛けられないように半透明になったカラーコーンなど、様々な製品を生み出してきた。「お付き合いが長いからといって従来のやり方をなぞるのではなく、新たな提案を積極的に行う社員が活躍しています。また、通信制御が可能なLED表示機、交通用センサーなど新型アイテムにも取り組んでいるのが当社の強みでもあります。社内では20代の社員が活発に意見交換していますよ」(岡崎氏)



人との繋がりが 大事な仕事

新卒で入社した神田悠貴さんは4月で6年目となる。現在は東京営業所で主任を務めている。「大手ゼネコンに向けて、工事用の保安用品を提案しています。直接やり

取りするのは工事現場のご担当者様で、現場事務所に赴いて、営業活動をしています」(神田さん)取引先の現場監督と良い関係を築くことで、工事が終わった後に新たな現場の依頼を受けることもある。「ルート営業が多いですが、時には新聞に掲載される工事情報から直接営業に伺うこともあります。現在は23区内で100現場程度を担当しており、人とのつながりを大切にするようにしています」(神田さん)

仕事のやりがいについて、次のように話す神田さん。「緊急対応の要望に応えられた時は感謝もされ、やりがいを実感できます。また、自分が手掛けた大規模工事現場がテレビなどで報道された時は嬉しいですね。最近だと豊洲市場などがそうで、安全フェンス等が映るたびに、周りに自慢していました！」

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
岡崎 太一氏

人間同士の関わりを大切にできる20代が活躍中

現場の安全を考え、どのような保安用品を配置するのが良いのか、自分の考えをお客様にお伝えしていく仕事です。そのための提案は年齢を問わず、若手であっても自分から積極的にお客様に働きかけるなど、裁量を認めています。昨今、インターネット上だけで完結してしまう商売も多い中、「営業の人となりを買ってもらおう」という色が強い仕事。お客様とコミュニケーションを取り、信頼関係を築いていくことで、20代から大きな契約が取れ、成長ややりがいを実感できるはずだ。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1952年4月
設立・1957年6月

【資本金】

8億8,600万円

【所在地】

◎東京営業所
東京都文京区
本郷5-25-14

【事業内容】

工事用保安用品(カラーコーン、安全フェンス、ガード、LED表示機等)の販売及びレンタル

【従業員数】

370名

(2020年2月時点)

※北海道から沖縄まで31事業所を展開。全国に約130名程度の営業が活躍しています。平均年齢は約40歳ですが、20代から裁量を持って働いている社員が多数います。



株式会社 白川プロ

<https://www.shirakawapro.co.jp>



テレビの発展と共に 成長してきた会社

映像・音響の編集制作を手がける株式会社白川プロ。テレビ放送の草創期から番組制作に関わり、テレビの発展と共に成長してきた同社は、2020年に設立60周年を迎えた。「私たちは、大手放送局のテレビ番組の映像編集や、音響デザインを担っています。皆さんの誰もが観たことがあったり、番組名を知っていたりする

ような有名番組を、たくさん手がけているんですよ」と語るのは、代表取締役社長の白川亜弥氏。

昨今、素人の作る映像コンテンツが話題になることも多いが、同社は根っからのプロ集団。やはり「プロの編集力」はひと味違う。同社スタッフは、ニュース、ドキュメンタリー、バラエティーと、あらゆる種類の番組制作に関わる。中には世界の権威ある賞を受けた番組もあり、放送局

社内の様子 (本社)



部活動の様子



エントランス



からの信頼も厚い。「当社の強みは、人材力。まさに“人は宝”です。社員が安心して一生働けるような環境をつくることこそが、私たち経営陣の仕事。もっと会社を好きになってもらえるようにしていきたいですね」(白川氏)



あの人気番組に 20代から関われる！

入社5年目の芦沢希さん。高校時代、放送部に所属して自主制作番組を作っていた経験から、映像制作に興味を持ち、伝える仕事をしたいと放送業界を志望したという。「専門学校を卒業した後、有名番組の編集に携われるだけでなく、教育面など社内制度が整っていて安定して仕事ができそうだと感じ、白川プロを選びました」(芦沢さん)

現在はBS編集部にも所属し、主に国

際ニュース番組の編集を担当。時差や刻々と変わる情勢を見ながら、世界各国から送られてくる映像を番組用に編集して送り出す。「皆で協力してより良いコンテンツを作る、やりがいのある仕事です。どうわかりやすく伝えるか自分なりに考えて編集するのは、難しいですが楽しいですね」(芦沢さん)

趣味でも映像編集を楽しんでいるという芦沢さん。今後も更に色々な経験を積んで、後輩の育成など、会社の役に立ちたいという。「当社は20代から活躍できるように育て、機会を与えてくれる会社だと思います。大きな番組に関わる歴史と実績を持った会社で、のびのびと働けて、なおかつ業界内でも珍しいくらいワーク・ライフ・バランスに気を遣ってくれています。とても良い環境ですね」(芦沢さん)

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
白川 亜弥氏

若い世代の「感性」に期待しています

映像コンテンツは、テレビという枠を超え、人々にとってさらに身近なものになっています。映像編集の重要性もより増すでしょう。当社はベテランの経験と、若い方の感性やエネルギー、その両方を活かして今後も発展していきます。型にはまるのではなく、個性を活かして活躍する20代を育てるため、どんどん機会を与えていきます。社員全員に夢を持ってほしいので、未来の選択肢を増やせるよう、会社としても努力していきます。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1960年3月
設立・1962年3月

【資本金】

1,000万円

【所在地】

◎本社
東京都渋谷区
宇田川町 10-2-5F

【事業内容】

テレビ番組の映像編集、
音響デザイン(音響効果)、
映像情報管理

【従業員数】

296名

(2020年2月時点)

※男女比は2:1で、平均年齢は37歳。近年は新卒採用を増やしている、20代社員が増加中です。映像系専門学校卒が多いですが、未経験からの育成にも力を入れています。





らどんどん外に出て行ってもらいます。ベテラン社員の持つ経験と、若い力の相乗効果が出るようにしていきたいですね。今後も『パッケージのことなら、やっぱり岡村』といつまでも信頼していただける会社でありたいです」(磯部氏)



パッケージだけでなく 商品開発にも携わる

メーカーへの提案営業を担当する野邊早央里さんは、入社5年目。元々広告業界に関心があり、食品メーカーの販促物も扱う岡村に興味をもったことがきっかけで入社した。「以前はルート営業でしたが、2年前から提案営業に変わりました。市場で何が流行っているか敏感に嗅ぎ取り、取引先に『こんな商品を、こんなパッケージで作ってみては?』と提案します」(野邊さん)

パッケージを売り込むだけにとどまらず、時には自ら、顧客メーカー向けに新商品の提案まで行う。「食品業界は回転が早く、流行についていだけでも大変です。一方で、色々な商材を組み合わせで提案でき、一から新しいものを作り上げられるのが、何よりの面白みだと感じます」(野邊さん)

営業部署には20代の若手や女性社員も多く、職場の雰囲気はとても明るく活気がある。「大手企業相手でも、新卒から担当できて、お客様も可愛がってくれます。提案も聞いてもらえますし、やりがいはい大きいです」(野邊さん)

今後は、流行の一端を担えるような仕事がしたいと話す。「トレンドや消費者の嗜好を見極められるようになり、もっと商品開発にも関わってみたいです」(野邊さん)

★経営陣に聞く★



代表取締役
磯部 菊夫氏

海外研修など若手を活かす施策を打っています

私自身も、20代に何もなかったところから渡米して色々な仕事をした経験があります。だから、若い世代には色々なことにチャレンジしてほしいと思っています。当社では最近、クリエイティブな仕事を手がける新たな部署を立ち上げました。また、20代の社員数名をアメリカの市場視察と研修に派遣するなど、若手の育成、更には彼らの感性を活かし、アイデアを出してもらえようという仕組み作りにも積極的に取り組んでいます。

株式会社 岡村



有名製パン会社の 商品パッケージも!

パンや菓子類などを彩る、食品パッケージ全般を手がける商社、株式会社岡村。紙やプラスチック製の容器をはじめ、袋、シールやリボンなど、食品包装のことなら何でもお任せだ。全国に商品を供給する大手製パン会社や有名菓子メーカーから深い信頼を得ている会社だ。「当社は、出会いや人間関係を大事にしてきました。おかげさまで各メー

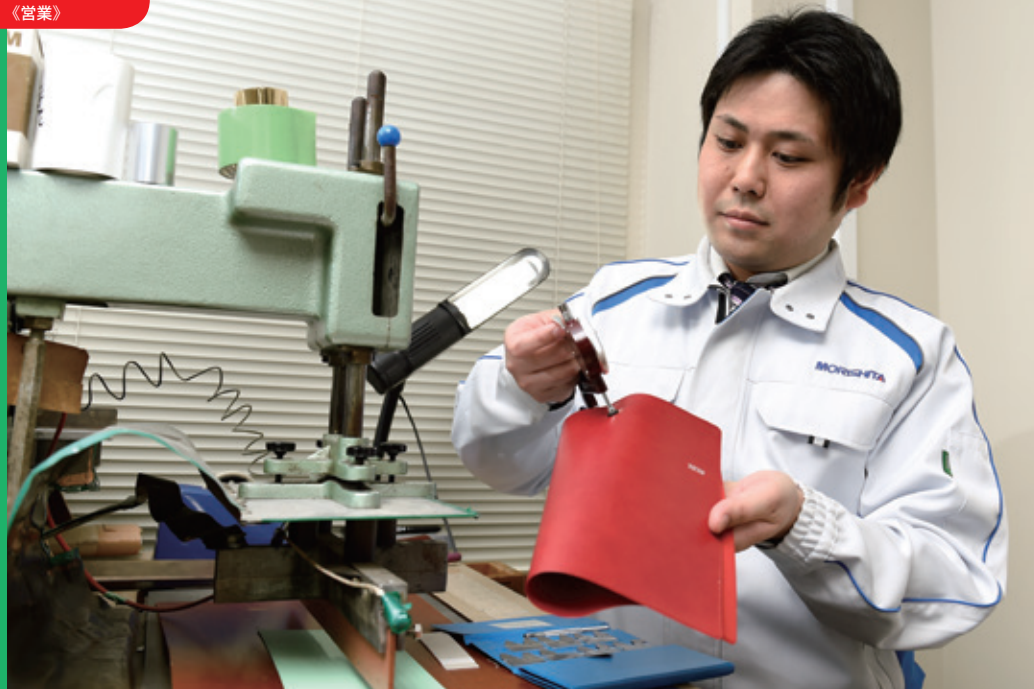
カーさんから広く商品パッケージをお任せいただいています」と語るのは、代表取締役の磯部菊夫氏。

磯部氏曰く、同社の強みは「人材」だ。他人がやらないことにも積極的に取り組み、機械にはできない柔軟性を持つて取り組む優秀な社員がいるからこそが自慢だという。

「社員には常々、商品ではなく『自分を売れ』と伝えています。まずはお客様に信頼してもらい、可愛がってもらうことが大事です。当社は20代か

デザインの提案から
商品開発まで





株式会社 モリシタ

<http://e-morishita.jp>



企画とものづくり、
両方の楽しさが
味わえる！



好きなことを
仕事にできる会社

大阪に本社を構える株式会社モリシタは約50年前よりビジネス手帳の表紙カバーを製造・販売している。秋頃から店頭に並ぶビジネスダイアリーなど、多くの手帳表紙カバーを手掛け、そのシェアは40%にも上る。「手帳カバー作りは、年間を通じて繁忙期がはっきりしています。手帳以外の製品を製造するために、1999年に

東京営業所を設立しました」と語るのは、東京営業所長の森下隆史氏。「コンサートなどで売られる様々なグッズ、アニメ関連のノベルティグッズ、大手テーマパークのキャラクター商品などを幅広く製造販売しているのが特徴です」(森下氏)

営業は顧客の要望を聞き出し、自社工場での製作が可能かを考える。素材やコストを考え、ニーズに合った最適な企画を提案するのだ。

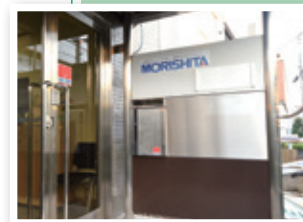
↓ 社内の展示スペース



↓ 商品の数々



↓ エントランス



「実際にサンプルを作り、わかりやすい形で提案するようにしています。またオリジナル製品を自社開発して、大きな展示会に出すこともあるんですよ」(森下氏)

ノベルティグッズのトップ企業として、出版、音楽、アニメなど様々な業界のクライアントと取引する同社。「20代のうちから、自分の好きなアニメや音楽、スポーツなどの分野で商品を世に出すことができるので、好きなことを仕事にできますよ」(森下氏)



年間に約200の
製品を作る！

営業は、入社後は約1ヵ月かけて見積もりの仕組みを学ぶところからスタート。その後、自社工場で製造工程や機械操作を学び、実際に製品作りの流れを身につけていく。「営業志望で、ものづくりに興味がある

あったので新卒で入社しました。工場での研修では先輩社員に同行して機械の動きや現場作業を学べたので、すごく勉強になりました」

そのように入社当時を振り返るのは、入社8年目の都築洋介さん。営業として日中は客先に商談を行い、帰社後に機械で簡易サンプルを作り、翌日には提案を行うサイクルだ。「商品を一から作るのも難しさもありますが、やりがいを感じています。営業一人あたり、年間に約200の受注点数があるんです」(都築さん)

印象に残っている商品は何だろう。「最初に注文もらったのが、小学生がランドセルにつけるようなキャラクターの反射板でした。数も2万5,000点と多く、工場から納品された製品を見て、出来栄に感動したのをよく覚えています。達成感のある仕事で、本当に楽しいです」(都築さん)

★経営陣に聞く★



企画開発営業部
東京営業所長
森下 隆史氏

若手社員の可能性を引き出す社内環境がある

若手社員がどんなことでも気軽に相談できるよう、垣根のない関係作りを進めています。客先で依頼された内容でわからないことがあれば、社内に持ち帰って先輩に相談してみんなでアイデアを出し合えるような協力し合える会社です。過去には、若手社員が一から企画を立てて缶バッジホルダーを作ったことがあります。アイデアが実際に形になっただけでなく、大手テーマパーク内で販売もされたのですが、そうした大きなやりがいに繋がる仕事ができますよ。

【創業・設立】
創業・1954年1月
設立・1971年12月

【資本金】
1,000万円

【所在地】
◎東京営業所
東京都豊島区
南大塚2-7-5

【事業内容】
販促ノベルティやオリジナルグッズなど、ビニールやプラスチックを使った製品の製作、企画・販売

【従業員数】
88名
(2020年2月時点)
※本社は大阪で、自社工場を大阪、京都、岡山に構え、受注体制を整えています。東京営業所は男性の営業が4名と事務担当の女性という体制ですが、会社全体では6:4で女性スタッフが多いです。



ラインファルト工業株式会社

<http://www.linephalt.com>



技術と経験で 信頼を獲得

日頃、意識することなく目にしている横断歩道や道路標識。誰もが安全に道路を利用するために欠かすことのできない、こういった標示や標識の施工、材料の販売をしているのがラインファルト工業株式会社だ。「道路標識を描くための塗料となるライン材を日本で最初に製品化した堺化学工業株式会社の施工部門が当社

のルーツ。現在は、『道』創りを通して社会に貢献するニチレキグループの一員となりました。標示や標識は時代に合わせて種類が増え、技術も進化し続けています。私たちは、そういった変化に応じて施工技術を磨き、標示・標識の施工を通じて、歩行者の安全確保に貢献することが使命だと考えています」(代表取締役社長・秦浩二氏)

設立から既に45年。これほど長い間、

みんなが使う
道路をつくる
技術とやりがい

東京支店外観



仕事風景



現場での施工の様子



元請けとして国からも直接工事を受注できる理由の1つに、同社の高い技術力があるのは間違いない。「従業員はわずか40名強の会社ですが、一級土木施工管理技士資格所有者が12名いるなど、各種資格の保有割合がとても高いです。また、長年現場で培った、経験に裏付けられた技術力もある。そこが、お客様から期待されているところだと自負しています」(秦氏)



頼れる先輩たちが 大勢いる職場

前職は電機メーカーの営業だった濱野賢悟さんも、入社後は先輩の技術力の高さに頼もしさを感じている。「普段歩いている道路の標示を描いている会社はどんなところだろう。そんな興味から未経験で転職したこともあり、技術的な知識は全くといっていいほどありませんでした。でも、

当社にはこの業界何十年というベテラン技術者がたくさんいて、いろいろと教えてくれます。日頃から笑顔で会話できる雰囲気もあるので、質問することを躊躇するようなことはありません」(濱野さん)

初めての現場で、道路に滑り止め材料を塗るため2日かけて雪かきをするという洗礼を受けたが、それも「自分が手掛けた現場だという実感を強くしてくれた」と笑顔で話す。

「今は早く路面標示施工技能士(溶融)の資格を取るのが目標です。そしてもっと実力を磨いて、会社でも責任ある立場を任せられるようになりたいですね」(濱野さん)

彼のように仕事に興味を持って前向きに取り組める人に来てほしいと秦氏は締めくくる。

「手掛けた仕事が長く残る、やりがいにあふれた仕事だと思います」(秦氏)

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
秦 浩二氏

若手を育てる社風と成長機会の両輪がある会社

技術と経験に裏付けられた実力の確かな先輩たちが、20代の後輩を丁寧に指導します。資格取得に必要な費用なども会社が負担しますので、本人に前向きさやチャレンジ精神があれば、先輩たちから技術を受け継ぎ、着実に成長していけます。年齢を問わず、実力が伴っていると判断すれば現場を任せるので、力を伸ばす機会も豊富です。適性を見ながら営業職か現場職かを見極めますので、当社で社会に貢献できる仕事に打ち込んでみませんか。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1958年4月
設立・1975年7月

【資本金】

5,000万円

【所在地】

◎東京支店
東京都大田区
東糀谷4-1-4

【事業内容】

路面標示・道路標識等の
施工、関連材料の販売

【従業員数】

42名

(2020年2月時点)

※ベテラン社員と20代社員の距離が近く、仕事を教え合う環境があります。アットホームで和やかな雰囲気のある、笑いの絶えない職場です。



株式会社 ニューテック

<http://newtech-soft.co.jp>



医療×IT！
チームワークで開発



自社システムなど 幅広く手がける

医療機関へのコンサルティングを通じ、ITでサポートを行う株式会社ニューテック。企業が行う健康診断のシステムや、介護サービス向けのツールなど、様々な医療系システムを開発、提供している。「創業社長は以前、大学にいましたが、人づてに蛋白質代謝異常児の管理システムの開発を依頼され、それが成功し感謝され、人のために役立つ仕事をと

思い起業しました。設立から38年が経過し、医療機関のほか、現在は大学教授からの依頼でデータベース作りなど幅広く手掛けています」と語るのは、取締役の野村靖久氏。

「オリジナル製品としても、健診や保健指導、ICUなどのシステムを自社開発しています。エンジニアが開発案件に応じてチームを編成し、力を合わせて開発を進めています」（野村氏）

エンジニアとして医療分野のスキル

社内の様子（本社）



エントランス



本社の入っているビル



や知識が身に付くことは、大きな武器になるだろう。

「日々の業務を通じて、医療の分野にはかなり詳しくなれるはず。特にレセプト関連が理解できると、お客様の引き合いも多くなります。また、医療用語を理解していると、検査項目などドクターとの会話がスムーズです。未経験から20代で、得意領域を持つエンジニアを目指せますよ」（野村氏）



簡単な開発から 少しずつチャレンジ

高木彩夏さんは入社4年目。未経験からでも技術が身に付けられる仕事を探し、プログラマーに興味を持ったという。同社でアルバイトを経験後、正社員登用された。

「最初は簡単な社内用の勤怠システム作りからスタート。少しずつ複雑なシステムを任せられ、順序立てて仕事を覚

えられました」（高木さん）

正社員として働き始めて丸3年。お客様の要望に沿ってプログラミングを行う一方で、自分で改善のための提案をすることも。

「使いやすさを考えてレイアウトを変更するといった些細なものですが、お客様には喜んでもらえています。また、処理スピードが遅いものはロジックを変更して速度を早くする工夫を施すなど、色々な提案を心がけています」（高木さん）

改善策を考えるには、お客様の話をしっかり聞くだけでなく、提案を実現するための知識も必要だ。「もっと勉強しないと」と高木さんは話す。

「自分の意見が反映されたものが完成して評価されるのがやりがい。将来はプロジェクトをまとめたり、SEを目指して仕事の幅も広げていきたいと思っています」（高木さん）

★経営陣に聞く★



取締役
シニアマネージャー
野村 靖久氏

年齢や経験に縛られず意見を提案できる職場です

9名のエンジニアが常駐する小さな会社なので、一人ひとりの考えや適性を大事にして、仕事をしています。キャリアや年齢で階層化せず、やりたいことなど意見が言い合える職場です。上が決めたことに従うのではなく、下から上がってきた意見を積極的に取り入れる土壌があり、その中で未経験の20代社員も活躍しています。実際に仕事のやり方について20代社員が意見を出し、それを採用することもよくあるんです。年齢や経験を気にせず働ける職場ですよ。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1982年4月
設立・1982年4月

【資本金】

8,400万円

【所在地】

◎本社
東京都江東区
亀戸1-5-7
錦糸町プライムタワー
14F

【事業内容】

医療システムを中心としたソフトウェアの設計・開発・保守

【従業員数】

9名

（2020年2月時点）

※平均年齢は34.5歳。
人数が多いのは30代のエンジニアですが、アルバイトを含め20代で活躍する社員が多数います。





株式会社 アーバンリサーチ

<https://www.urbanresearch.co.jp>



嬉しいな
育ててくれるって
個人に合わせた



ニッチな分野で
力を発揮！

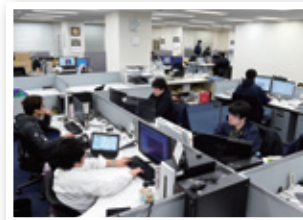
メーカー出身の技術者が集い、1982年に設立した株式会社アーバンリサーチ。創業時は大手メーカーのシステム開発、OSネットワークの構築などを得意としていた。「当時から、できるだけニッチな分野への進出を目指そうと考え、30年前に半導体製造装置システムのネットワーク開発、20年前に車のオークシ

ョンのシステム開発を始めたのが転機となっています。その後、少子高齢化に着目し、約10年前に斎場運営のシステム開発をスタート。現在はこの3本柱で事業を展開しています」

そのように語るのは、代表取締役社長の木野貴夫氏。3分野のいずれでも強みを発揮し、先駆者的にシステム開発を手がけてきた。

「次々と新たな分野で自社の価値を高めているのが強みです」(木野氏)

↓社内の様子(本社)



↓仕事風景



↓同僚社員



新たな業界への参入には、下支えとなる技術力が必要だ。そのため、20代の若手社員を中心に社内教育を徹底している。「メーカーで行うような、きめ細かい研修を用意しています。具体的には、基礎教育に3カ月、その後は業務系の研修も3カ月行うなど、合計で約半年は学びの時間を取るようにしています。若手が研修期間でプログラマとしての力量をしっかり身に付けられることで、配属後は現場ですぐに活躍できるはずです」(木野氏)



現場配属後は
先輩社員がサポート

新卒で入社し、この4月で4年目を迎える伊藤真由さん。プログラミングなどに興味はあったが未経験で、技術的なことは全て入社後の研修で学んだという。

「配属後は中古車買い取りオークションのシステム開発を担当しています。入出金などを行う経理専用アプリの開発がメインです」(伊藤さん)
まったくの未経験でのスタートだが、学べる環境があったことで、それほど苦労はしなかったと話す伊藤さん。「研修で先輩社員にしっかり教えていただいたので、特に難しさを感じずに技術を身に付けることができました。開発したシステムがうまく動かない時もありますが、問題点を探し出し、修正することでうまく動いた時は大きな達成感が得られます」(伊藤さん)

同世代の社員も多く、皆仲がいいという。それでいて職場には適度な距離感もある。マイペースで仕事ができることも働きやすさの理由だ。「今は先輩の設計通りに開発を行っています。将来は自分で設計までできるようになりたいです！」(伊藤さん)

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
木野 貴夫氏

地域密着！社員の要望で本社を移転しませんでした

以前は研修を画一的に行っていました。しかし、今の時代はそれではきちんと育成できないと感じ、一人ひとりに合わせたカリキュラムで学べる環境を整えています。社員を大切にするのは研修だけではなく、社員が通いやすい場所をと考えて、都心には移さずに府中市に本社を構えています。会社の近くに住み、自転車通勤する社員も多いんです。20代の若手社員に限らず、全社員がライフ・ワーク・バランスを実現しやすい職場を目指しています。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1982年9月
設立・1982年9月

【資本金】

2,400万円

【所在地】

◎本社
東京都府中市
本町1-12-2 大国ビル

【事業内容】

ソフトウェア受託開発

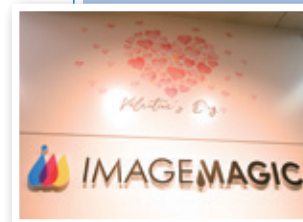
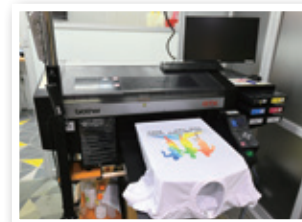
【従業員数】

34名

(2020年2月時点)

※社員の平均年齢は約38歳。新卒、中途採用も多く、最近では20代の若手社員の採用が増えています。





早く製品開発に反映できるのも自社でやってきたからこそ。『入口から出口までを知っている強み』が、会社の成長を支えています」(代表取締役社長・山川 誠氏)

今後は、「必要な時に必要なだけ生産する技術」をプリント以外にも展開し、高度なオンデマンドプロダクティング技術によって顧客満足度を高めていける企業を目指すという。

自分なりの創意工夫を盛り込みながら取り組めるからだという。

「FAQページの全面リニューアルを任された時は、お客様は何が知りたいのか情報を集めて、見やすさも考えながらページを作っていくのがすごく楽しかったですね」(笹川さん)

サイト内の商品画像についてもこだわりがあると、笹川さんは続ける。「画像と現物の色合いが違くと、購入したお客様ががっかりしてしまうかもしれません。だから、サンプルを見ながら可能な限り現物に近い色味になるよう画像を調整しています。レビューに『イメージ通りで良かった』などと書き込みがあると、嬉しくなるんです！」

同社は20代の意見も積極的に聞いてくれる社風がある。「自分の考えを発信していきたい人向きの会社」だと笹川さんは笑顔で教えてくれた。



創意工夫できる 楽しい仕事

2019年4月入社の笹川結香さんは、Webを介してオリジナルグッズを作成できる『オリジナルプリント.jp』の運営に携わっている。

「前職はアパレル販売だったので、デスクワーク自体初めてでしたが、すごく楽しめています」(笹川さん)

その理由は、仕事を任せてくれて、

★経営陣に聞く★



代表取締役社長 CEO
山川 誠氏

やりたいことや意見を発信できる若手は大歓迎！

当社の20代社員は皆、のびのびと働いていますよ。理由の1つは、意見やアイデアを発信することを良しとする社風にあります。社内SNSがあり、若手も様々な意見や情報を発信。若者ならではの感性から出てくるアイデアにハッとさせられることもあります。また、「かすり傷程度の失敗ならどんどん経験しなさい」という考えなので、積極的にチャレンジできる風土がある点も、20代が前向きに働ける理由かもしれません。

株式会社 イメージ・マジック

<https://imagemagic.jp/>



オンデマンドプリントの 草分け的存在

大切な思い出の写真やお気に入りのイラストをTシャツやマグカップ、スマホケースなどにプリントして、自分だけのオリジナルグッズを作りたい。そんなニーズにオンデマンドで応えているのが、株式会社イメージ・マジックだ。

1995年の創業以降、オンデマンドプリントに必要なシステムの開発から

受注、生産までを自社で行うことでノウハウを蓄積。不織布バッグやカーペット、壁紙など多様な素材にプリントする技術を磨いてきた。現在は、その技術や仕組みをオンデマンドプリント・ビジネスに興味のある企業へ提供する事業も行っている。

「システム開発から手がけてきたことで、どの工程を自動化すればコスト減や高効率化を実現できるのか熟知しています。また、マーケットニーズを素

世界にひとつの
Tシャツやマグカップ





社会福祉法人 聖救主福祉会 深川愛の園

<http://f-ainosono.com>



**人が好きな20代が
活躍できる職場**

社会福祉法人聖救主福祉会が運営する高齢者福祉施設「深川愛の園」。同じ建物では保育園も運営しており、子供たちと高齢者の交流もある。「当施設では、特別養護老人ホームとデイサービスを中心に、介護保険制度開始前の1999年から事業を開始し、地域のお年寄りの方々にご利用いただいています」と語るのは、施設長の小

久保佳彦氏。同施設は「お年寄りを元気にするケア」をテーマに掲げ、ご本人やその家族が日々前向きに過ごすことを目指している。

「お年寄りがキラキラしていると、子供や孫の世代も元気になります。人は誰でも老います。それでも明るい未来があることを、介護のプロとして示したいのです」（小久保氏）

また、介護職に進む若者を増やすために人事制度の変革を進め、働きやす

社内イベントの様子（節分）



仕事風景



施設の様子



さも追求している。「社会福祉法人では、待遇面でも年功序列が一般的ですが、当園では行動評価を導入。年齢や経験を問わず、頑張った人をきちんと評価し厚遇できるようにしています」（小久保氏）「介護を夢のある仕事に」と語る施設長の言葉通り、「人が好き」な若手が輝けそうな職場だ。



**優しく教えてくれる
先輩がたくさんいる**

デイサービス担当の奈良潤人さんは、入職1年目。専門学校での実習先だったことがきっかけで入職した。「現場で実習してみて、職員の方々の人柄もわかり、働きやすそうだなと思ったのが決め手です」（奈良さん）

入職後にあらためて実感したのは、周囲の職員たちの温かさと親切さ。「皆さん優しく、色々教えてください

ますし、若い職員でも意見が気軽に言えますよ」（奈良さん）

仕事は、デイサービス利用者のケア全般。入浴介助、レクリエーション、記録係などを順番に受け持つ。

「利用者の方々は、一人ひとり性格も身体の状態も違うので、対応も異なります。最初は名前を覚えるだけでも苦労しました。先輩たちの仕事を見ているとコミュニケーションが上手くて、利用者さんたちも施設に来るのが楽しそうなんです。自分も先輩たちのような仕事ができるよう、もっと学んでいきたいです」（奈良さん）

祖父母が好きで、将来は自分で助けられたいという思いがきっかけで介護の世界に入った奈良さん。

「コミュニケーションが重要な仕事なので、今の仕事でそれを身につけたうえで、総合的に技術を学んでいきたいと思っています」（奈良さん）

★経営陣に聞く★



施設長
小久保 佳彦氏

世話好きの先輩ばかり。20代から手塩に掛けて育てます

当施設の職員は皆、親切で世話好き。介護職の技術や経験を身につけるにはピッタリの職場だと思います。もともと現場でのコミュニケーションは活発ですが、介護の現場では一人ずつ考えながら動かねばならないことが多いので、職員がお互い助け合いながら更にコミュニケーションを密にできるよう、インカムの導入を予定しています。人事制度も含めて、20代の若手が介護職に希望を持って取り組めるようにしていきます。

【創業・設立】
創業・1979年
設立・1999年4月

【所在地】
◎本部
東京都江東区
冬木16-7

【事業内容】
高齢者福祉施設（特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、グループホーム）、保育園の運営

【従業員数】
160名
（2020年2月時点）
※平均年齢は40歳前後ですが、ベテラン世代と20代を中心とする若手が多く働いています。男女比は半々で、若手は福祉系専門学校卒がほとんどです。約4年前から若手の採用に力を入れています。

Corporate DATA



広告

《営業アシスタント》



株式会社 ティー・ピー・カンパニー

<http://www.tpcompany.jp>



週末よく見かける あのイベントも

全国の百貨店やスーパー、ショッピングモールでの販売促進企画を手がける株式会社ティー・ピー・カンパニー。着ぐるみイベントや、ノベルティ配布等のキャンペーンを得意とし、毎週末、全国のどこかでイベントを仕掛けている。

「当社は、企画の作り込みから現場での実施まで、全てを手掛けています」

と語るのは、代表取締役社長の椿原城太郎氏。

「何もないところから企画を作り上げ、世の人々に『非日常』をお届けする仕事。他では味わえないやりがいと、感動があります」(椿原氏)

また同社は、自治体等から依頼を受け、オリジナルのキャラクターや着ぐるみを制作したり、食育関連の独自イベントを仕掛けたりと「自前」の企画も数多く抱えている。

↓ イベントの様子



↓ 社内の様子 (本社)



↓ 同僚社員



「他社からの下請け仕事もありますが、大半は自社企画、自社制作の仕事なんですよ」(椿原氏)

積極的に若手を登用していく方針なので、20代も多く活躍中だ。

「元気で、きちんと挨拶ができ、大きな声が出せる方なら誰でも歓迎です。若い方が経験を積む機会はいくらでもありますよ」(椿原氏)



若手でも力量を見て 仕事を任せてくれる

石塚良子さんは、クリエイティブグループのリーダー。ポスターやPOP、その他イベントで使うパネルやグッズなどのデザインを担当している。加えて最近では、営業アシスタントとしてクライアントとの折衝にも関わるように。また、週末には全社員がどこかしらのイベント現場に入ることになっているという。

「デザインだけではなく、営業や現場でのイベントづくりもできるのが面白いですね」(石塚さん)

仕事のやりがいは、「誰かに喜んでもらえること」にあるようだ。「デザイナーとしては、作ったものをクライアントに褒めていただけて、さらに次の仕事に繋がるのが嬉しいです。イベント現場では、子供たちが喜んでる姿を見たり、親御さんが写真を撮ってSNSにアップしてくれたりとか、そういう反響を味わえるのが面白いですね」(石塚さん)

社内では話しやすく、20代も多いため働きやすいと語る石塚さん。「力を合わせて仕事をするのは楽しいですし、毎回イベントが終わるとすがすがしい気分になります。次に向けての切り替えもしやすく、変化に富んだ仕事が好きなお方にもおすすめです」(石塚さん)

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
椿原 城太郎氏

20代から貴重な経験がたくさん積める環境です

当社では多数の20代社員たちが活躍しています。特殊な仕事ですから、入社時は皆「未経験」からのスタート。何もわからないところから見習い仕事をこなし、どんどん失敗しながら身につけてほしいですね。若い方にも任せられる仕事はたくさんありますから、5〜6年ほどかけて一人前になってくれればと思います。当社は今後も「ニッチ」を追求しながら、新しい「独自のもの」を世に送り出していきたいと考えています。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1999年5月
設立・1999年5月

【資本金】

1,000万円

【所在地】

◎本社
東京都清瀬市
下清戸1-23-1-6

【事業内容】

セールスプロモーション
企画に伴うイベントの企画立案、制作

【従業員数】

10名
(2020年2月時点)
※男女比は半々ですが、
営業担当については平均40歳前後で男性が多いです。
クリエイティブ部門は20代女性を中心。ほとんどの社員が新卒か未経験からの入社です。

子供も大人も盛り上がる！
SNSにもアップ



てるお・てるこの
お父さん、

教えて！

特別企画

これまでの 「TOKYOシャイン」を振り返ろう

『TOKYOシャイン』では、これまでに200社の魅力ある中小企業を紹介してきたよ。今回は、今までの特集テーマを振り返ってみるので、気になったものがあれば、ぜひバックナンバーを手にとってみてね！

20号は「設立20年以上で20代が活躍している企業」を10社取り上げているけど、毎号いろいろなテーマで企業を紹介しているんだ。例えば、同じ社歴に注目したのが、13号の『歴史のある企業特集』だね。



設立から30年以上続く企業を取り上げたのよね☆

中には創業100年を超える企業も！長い歴史の企業は、それだけの理由があることがよくわかったよ。

いろんな業界を取り上げていて、メーカーや商社その他、最近よく聞く情報セキュリティサービスを扱った企業もあるわね！

「歴史がある＝古くさい」なんてイメージをもっているとしたら、それは大間違い。長く業界を引っ張る最先端企業もたくさんあるし、設立間もない企業と比べて社内制度などサポート環境が整っているケースもあるんだよ。

それでいうと、私が印象に残っているのは18号の『人材育成に力を入れている企業特集』かなあ♪



経験を気にせずやりたいたいことにチャレンジできる環境があるのは嬉しいことだね。

未経験から成長して、イキイキ働いている若手社員たちの笑顔が素敵(＾o＾)

専門知識が必要そうに見える仕事でも、実は未経験者歓迎だったりするよね。

それぞれの企業がどんな方針で社員の育成をしているか、具体的な研修内容まで触れているところもあるの、新しいチャレンジをしたい人には参考になると思うな。

表紙のラグビーで思い出すのは「ワンチーム」。まさにぴったりの15号の『チームワークを大切にしている企業特集』だね(*^_^*)



人々の暮らしを支える企業から、テレビや映像のプロを育てる企業、カフェの運営など、いろんな仕事を紹介されているね。

仕事を通じて1つになろうー(＾_＾)v

支え合える仲間がいるのも嬉しいよね★

私のオススメは、10号の『ライフ・ワーク・バランスを大切にしている企業特集』ね。最近、社員の働き方を大切にする企業が本当に増えているのよね。



今後は、働き方も含めた「生き方」が重要になると思うんだ。僕はライフ・ワーク・バランスをしっかりと考えてくれる会社で働きたいなあ。

ライフプランに合わせて働き方を選ぶ会社なんかも取り上げられていて、先々を考えると安心よね。

どの号も特集テーマに合わせて経営陣に話を聞いているので、その会社のことがよくわかるはず。少しでも興味を持ったテーマがあれば、バックナンバーを読んでみてね。そして、ヤングコーナーのアドバイザーに話を聞く手がかりにもらえたら嬉しいな。

